

平成28年5月13日

苫小牧市自主防災組織連合会
設 立 趣 意 書

本市では、平成7年1月17日に未曾有の被害をもたらした阪神淡路大震災を教訓として、平成7年に初めての自主防災組織が結成されました。

その後、地域住民の方々や町内会関係者の皆様の御協力のおかげで、誕生から20年が経過し、市内86町内会中、7割以上の町内会で自主防災組織が結成されています。

平成25年12月には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定されました。この中においても、災害から一人ひとりの命を守るために、住民、自主防災組織、消防団、市等が役割を分担しながら相互に協力して取り組むことにより、地域防災力を充実させることが謳われています。

昨今は、少子高齢化の進展など社会情勢の変化により、防災活動の担い手を十分に確保することが容易ではなくなっている状況にあります。

このことから、将来の自主防災組織のあり方として、多様な主体が地域防災に対して総力を結集することを明確にし、近隣同士の自主防災組織の連携、普段から災害時に備えた協力体制を築いておく必要があるものと考えます。

自主防災組織連合会の設置により、これまでに築き上げてきた地域防災のノウハウを次世代に引き継いでいくとともに、地域間の防災活動にみられる格差の解消、防災知識の向上、さらには自主防災組織のネットワーク構築や情報の共有化を柱とした活動を推進します。